

障害者控除 要介護者に申請書送付 共産党市議団がくり返し求め実現

「認定書」の申請書送付は1746人
要介護・要支援認定者（2908人）のうち、所得税などの控除を受けられる「障害者控除」対象者1746人（1月10日現在）に、その申請書が送付されました。「障害者控除」は、65歳以上の高齢者で身体・知的障害者に準ずるとして、市町村長が認定すれば、所得税で27万円、住民税で26万円の控除（特別障害者はそれぞれ40万円、30万円）を受けられます。



「すべての介護認定者に障害者控除を」と、6月、9月議会につづいて森まさる議員は一般質問で求めました。

「認定書」の申請書送付は1746人

医療費が高い！何とかしてほしい
市の仕事は地元業者にまわしてほしい
水道料は、これ以上値上げはやめてほしい

市民アンケートにご協力ありがとうございました

日本共産党

みなさんの願い、しっかり受けとめ 4人の議員団実現めざしてがんばります

市民の声でもっと政治を
うごかす年に

京丹後市長・市議選挙（4月20日告示、27日投票）が迫りました。そして今年は、解散・総選挙が行われることも必至です。今年こそ、暮らし第一、市民が主人公の新しい政治をいっしょにつくろうではありませんか。

合併して3年10カ月がたちました。合併前は「サービスは高い方に、公共料金は低い方に合わせる」という説明でしたが、実際はその逆でした。水道料金や国保税がどうなったかを見れば明らかです。そうしたなかで、共産党の3人の議員団は、ムダ使いをチェックし、住民の声をまっすぐ議会に届け、市民の命と暮らしを守ってがんばってきました。日本共産党は、この議席をさらに1人増やす4議席に挑戦します。

旧年以上のご支援をよろしくお願いします。

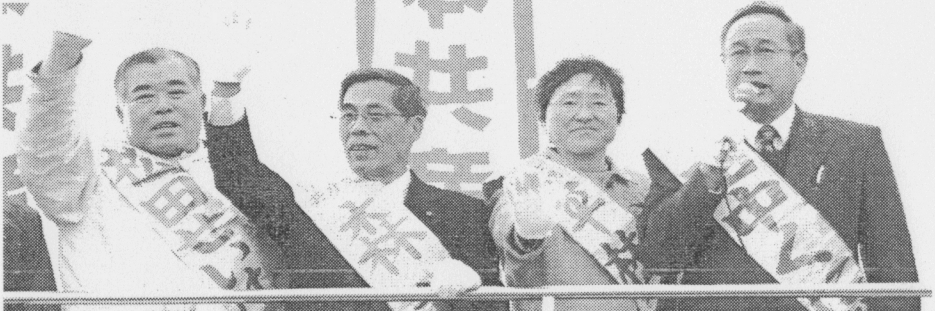
12月議会で、党議員団は、市民の暮らしの実態を厳しく告発するとともに、要求実現のために奮闘しました。審議された29議案のうち、市民の暮らしと利益に反する補正予算や、市民病院の入院個室料・証明書・手数料を大幅に引き上げる条例改正など、6件には改善を求めて反対しました。また、2つの請願の審議と、まちづくり基本条例や市議会基本条例を制定しました。

府内で初めて

該当者へ「認定書」を送付するのは、全国的にもまだ少なく、府内では初めての画期的なものです。市はこれまで、広報での周知のみで、一昨年の「障害者控除」の申請者は66人とどまっています。なお、総務部長は、税務署、市税務課に申告すれば、過去5年間さかのぼって減額（還付）更正することができることを説明しました。

障害者控除の申請や申告 生活相談は党市議団へ

- 市会議員
- 松田せいけい 久美浜町友重 TEL 82・0755
 - 森まさる 網野町網野 TEL 72・1761
 - 平林ちえみ 弥栄町井辺 TEL 65・3663
- 議員団事務局長 田中くにお TEL 62・2498



左から松田せいけい・森まさる・平林ちえみ・田中くにお

京丹後市会議員団ニュース